

尼崎市立中央図書館 としょかんNOW 図書館だより

中央図書館だより No. 403
令和 7(2025)年1月1日発行
尼崎市立中央図書館
〒660-0826 尼崎市北城内 27 番地
TEL (06)6481-5244
FAX (06)6481-2142



図書館ホームページアドレス
<https://www.amagasaki-library.jp>

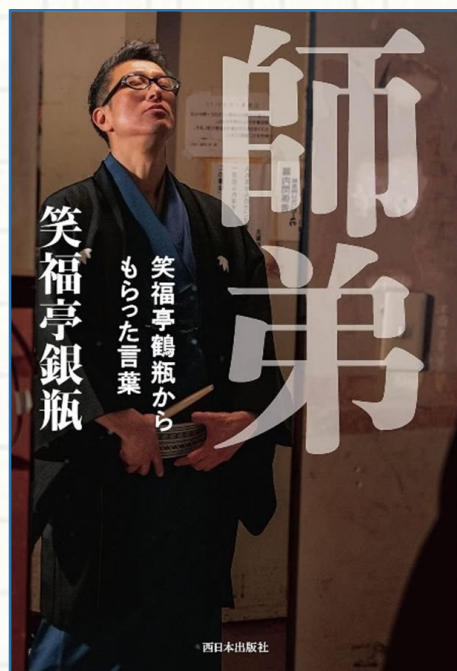
※お使いの機種によっては、読み取らないこともあります。
※ご利用のポケット通信料は利用者のご負担となります。

尼崎と作家たち 第59回

笑福亭 銀瓶(しょうふくてい・ぎんぺい)

落語家

1967(昭和 42)年神戸市生まれ、尼崎市在住。教師になりたくて地元の進学校を目指すも、父親の強い勧めで国立明石工業高等専門学校へ進学。テレビで活躍する笑福亭鶴瓶の弟子になることを思い立ち入門。師匠に導かれて上方落語に真剣に取り組みつつ、韓国語による落語も手がける。2017(平成 29)年「第 7 回笑福亭銀瓶独演会 in ピッコロ」が文化庁芸術祭 大衆芸能部門 関西参加公演の優秀賞を受賞。テレビやラジオでも活躍中。



作品紹介

「師弟 - 笑福亭鶴瓶からもらった言葉」

笑福亭 銀瓶/著 西日本出版社/出版 2021 年

六甲山を仰ぎ見て元気に駆け回った少年の頃、在日韓国人 3 世として出自と向き合った中学・高校時代、芸の道でも迷いがあった青年期。これらの節目節目で進む道を示してくれた人や言葉との出会いがあった。師匠である笑福亭鶴瓶はもちろんのこと、亡くなった重鎮の師匠や先輩達との交流や言葉が貴重な記録として綴られている。



あけましておめでとうございます

特別整理の期間中はご理解とご協力をいただきありがとうございました
今年も皆さまがより利用しやすい図書館になりますよう
職員一同がんばってまいります
どうぞよろしくお願いいたします

阪神・淡路大震災と尼崎

～1995.1.17 から 30 年～

常設ミニ展示

1995(平成7)年1月17日の阪神・淡路大震災から今年で30年の節目を迎えます。
尼崎市でも多くの被害がありました。あの日を忘れず、防災意識を一層高めるために、
阪神・淡路大震災に関する尼崎市の資料や当時の様子を伝える新聞、雑誌の特集号、
被災状況の写真などを展示します。また、市内にある震災モニュメントも紹介します。

期間：2025年1月4日(土)～2月26日(水)

場所：2階 エントランス

絵本・手あそび DE コミュニケーション！



絵本の選び方や楽しみ方、絵本を通したコミュニケーションについて
手遊びをまじえながら、楽しくお伝えする講座です。
どうぞお気軽にご参加ください♪

【日時】1月21日(火) 11:00～11:45

【場所】中央南生涯学習プラザ 2階和室

【対象】2歳までのお子さんとその保護者、妊婦(パートナーの参加も可)(先着10組)

【講師】「尼崎こどもと本をつなぐ会」の皆さん

【申込】専用の申し込みフォーム

または中央図書館カウンターへお申し込みください。

受付：1月7日(火)午前9時～1月19日(日)

(定員に達した場合は受付を終了します)



お申し込みは
こちらから！



おしえて！介助犬

介助犬から学ぶユニバーサルな世界

介助犬は、手や足や身体の不自由な人の日常生活における動作を補助します。
訓練士のお話と実演を見て、介助犬のことを学んでみませんか？
小学生から大人の方まで、お気軽にご参加ください。

【日時】1月25日(土) 午後1時～午後2時

【場所】中央図書館 1階 セミナー室

【定員】40人(申込先着順)

【対象】小学生以上

【講師】認定NPO法人 兵庫介助犬協会

訓練士 北澤光大さん & PR犬 アリシア

【申込】2025年1月7日(火)午前9時より受付開始

専用申込フォームまたは中央図書館2階カウンターまで



お申し込みは
こちらから！



レファレンス室から

～新刊紹介～

『現代用語の基礎知識 2025』
(自由国民社)2025年1月発刊

インターネット普及前の昭和～平成時代に“今どき”を調べるツールとして活躍していた本シリーズは令和時代にも健在、創刊77周年となります。2024年に活躍したキーパーソン、世界の紛争、災害、事件や政治・カルチャー、スポーツなどのキーワードをわかりやすい言葉とビジュアルで解説。そのコンパクトさが、ネット時代に逆に便利な一冊です。

この資料は、3階レファレンス室で
ご覧ください。貸出はできません。

3階レファレンス室では調べもののお手伝いをします。遠慮なくお声がけください。

こんな質問がありました！

ひらがなが、なぜその字
になったかを知りたい
(小学生)。



児童室の80番(ことば)の本棚に行って、日本語の言葉について載っていそうな本を探してみました。『国語ものしり大図鑑』(学習研究社)や『楽しく遊ぶ こくごの図鑑』(小学館)に、各ひらがながどの漢字から変遷したかの図表が掲載されていました。また、『ふしぎ?びっくり! ことばの由来博物館 歴史と芸術のことば』(ほるぷ出版)、『学校では教えてくれない ゆかいな日本語』(河出書房新社)にも、古代に中国から伝来した漢字が、律令制度の発達とともに簡便に書けるひらがなへと変遷していった歴史について、記述がありました。

中央図書館100周年記念事業

数珠つなぎ

第51回

尼崎市ゆかりの方々に、愛読書・おすすめしたい本を紹介いただき、読書の輪を広げるリレー企画です。小林由美子さん(コバショ)から推薦された次の方は…



う く り え
宇久 理恵さん (尼崎ボクシングジム
マネージャー)

『窓ぎわのトットちゃん』

黒柳 徹子／著 (講談社 1984 年刊)

※書影は 2015 年刊の新組版



息子が生まれた12年前に決めたことがある。『窓ぎわのトットちゃん』の小林宗作校長先生みたいな大人になろうって。80年前の東京に実在した、一風変わった小学校「トモ工学園」の物語。黒柳徹子さんの自叙伝小説。誰とも比べない。子どものありのままを受け止める愛。相手を尊重すること。多様性を認めあえる社会の実現は、幼少期から当たり前共に育つことが大切。令和のいまの時代にこそ、多くの人に届きますように！

次回は、作家の谷口雅美さんです。お楽しみに！

1月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8●	9	10	11◆
12	13	14	15	16	17	18◆
19	20	21	22●	23	24	25◆
26	27	28	29	30	31	

開館時間 **9:00～20:00**

※  印は休館日です。

※ ○ 囲み(日・祝)の開館時間は **17:15 まで**。



**1月の朗読の会は、
お休みです。**

※次回は、2月11日(火)です。



◆おはなしの会

14:10～14:25 子ども(0～3歳くらい)と保護者

14:30～14:50 4歳くらい～小学生と保護者

14:55～15:15 小学生

●コアラくらぶ

11:00～11:30 0～3歳と保護者

詳細はホームページまたは子ども向け図書館日より
「本と友だち」をご覧ください



【期 間】 2025年 1月 4日(土) ～ 1月29日(水)

【場 所】 2階 エントランス

図書館で、新年最初の運だめし!

「読みくじ」を引いて、一年の運勢を占ってみませんか?

どんな結果でも大丈夫!読みくじが導く本を借りると運気が高まるかも…!?



担当者のつづやき

「味見読書」を知っていますか? その言葉の通り、長い小説や文学作品の一部分を短時間で読み、作品の魅力に触れることです。図書館でたくさんの作品を味見して、気に入ったら全文を読み込んでください。すてきな名作に巡り合えますよ。(M.Y)



2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	